



## 7月農作業メモ



**水稻**  
田代 好幸  
農畜産課  
0969-22-1105

### ○いもち病、カメムシ、ウンカ対策

早いところでは、6月下旬から出穂が始まっています。ほ場全体に穂が出そろったら、1回目の本田防除として「トライスタークル」の散布をお願いします。

また、2回目の本田防除は7日～10日後に「キラップ」の散布を行ってください。尚、収穫の14日前までに散布しましょう。

※散布の際は使用基準を遵守し、飛散等がないよう心がけてください。

### ○収穫までの水管理

出穂期以降は、米の登熟や品質向上を図るために、間断灌水による水管理を行ってください。酸素の補給、根の活力維持につながります。

落水は、収穫に支障がない限り遅らせてください。(収穫前5～7日程度)

※高温障害等による、品質低下が見受けられることか

ら、水管理は十分に注意を行いましょう。

### ○収穫・乾燥調整

早い地区では、7月下旬より収穫が始まります。穂のもみの85%程度が黄色く色づいた頃が収穫の最適期です。

刈り取り作業では、生もみで長時間放置するとムレ米となりますので、収穫後は速やかに通風乾燥を行ってください。高温乾燥は、胴割れ等の発生原因となります。

※籾の乾燥中は、排気ホース等から籾殻が飛散するため、近隣の迷惑にならないよう心がけてください。

掛け干しの場合は、期間を3～4日程度を目安として、適正玄米水分15%～16%で脱穀してください。尚、玄米仕上げ水分は15%を目標としてください。過乾燥や高水分は、品質・食味を落としますので注意しましょう。



## 家庭菜園 ワンポイント



**野菜**  
宮内 勝幸  
上島営農指導センター  
080-2751-6373

### ★夏野菜のなり疲れ解消

7月に入り、春に植えたトマトやキュウリ、ピーマンなどの果菜類では収穫のピークを迎えている頃ではないでしょうか？

最初の収穫では立派なものがあったのに、なんだか様子がおかしい…

例えば、

『トマトの尻腐れ（へたの反対側が黒くなっている）が出ている』

『キュウリが曲がって葉の表面に白い粉がついていたり、角ばった黄褐色の病斑がでる』

『ピーマンの実がどんどん小さくなる』

など、草勢（植物体の勢い・状態）は変わらないのに実がおかしかったり、草勢自体も弱っていたりしていませんか？

### ★それぞれ症状としては【生理障害】【病気】【害虫】

ですが、その根本には着果負担からのなり疲れが原因となっていることが多いです。つまり、植物体が働きすぎて疲れている状態です。人間も疲れていると様々な症状が出たり病気になることがあると思います。まさにその状態です。

その疲れを解消させる方法としては、

①着果負担を減らすため、障害が出ている実や曲り

果などを落とす。

②追肥をする。(固形肥料の場合は、追肥後灌水をする。)

特に疲れが目立つ場合は、葉面散布剤や発根剤を施用する。

### ★そもそも疲れさせないために注意することは

I. 灌水の量や回数は足りているか。(実が着くと必要な水の量はぐんと増えます。定植した時と同じ量・回数にしたままではありませんか?)

II. 適期の追肥はできているか。(1番果が成りだしたら必ず追肥。その後は定期的に(10日おきなど)追肥しながら様子を見る。一度にたくさん施用しても土壤中に流れるだけですので、品目ごとに栽培の参考書などに記載されている量を施用する)

III. 整枝作業は適宜行えているか。(無駄な脇芽をそのまま放任していないか。)

春植えの果菜類は、手をかけてあげれば寒くなり始める10月まで長期間収穫することが可能です。長く楽しんでいただくためにも、しっかり管理作業を行うことが重要です。



# 7月・8月の柑橘園管理

**果樹**

原口 悠貴  
下島営農指導センター  
080-2725-7775

## 1. 病害虫防除

品種	散布時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍数	水10ℓ当たり
温州	7月上旬～中旬	※アザミウマ類 ※ゴマダラカミキリ	リーズン顆粒水和剤	2,000倍	5g
		黒点病	混用 エムダイファー水和剤	600倍	16.7g
	8月上旬	黒点病	ジマンダイセン水和剤	600倍	16.7g
中晩柑	7月中旬	※アザミウマ類 ※ゴマダラカミキリ	リーズン顆粒水和剤	2,000倍	5g
		黒点病	混用 エムダイファー水和剤	600倍	16.7g
	8月中旬～下旬	チャノホコリダニ ミカンサビダニ	コロマイト水和剤	2,000倍	5g
共通	7月中旬～9月中旬	ミカンハダニ、サビダニ	バロックフロアブル	2,000倍	5ml
		ミカンハダニ、サビダニ	ダニゲッターフロアブル	2,000倍	5ml
		ミカンハダニ	ダニオーテフロアブル	3,000倍	3.3ml
		ミカンハダニ、ホコリダニ	スターマイトフロアブル	2,000倍	5ml
	発生時	カメムシ	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	5g
			テルスターフロアブル	3,000倍	3.3ml

※アザミウマ類、ゴマダラカミキリはアドマイヤーフロアブル 4,000倍も使用可能です。(7月)

## 2. 施肥

○省力化タイプ (年2回施肥タイプ)

対象品種	肥料名	施肥時期	10a当たり
デコポン・清見・甘夏・河内晩柑・パール柑	新アグリロング 28号	7月上旬	5袋

## 3. 葉面散布

目的	薬剤名	希釈倍数	備考
果皮強化対策	ジューシーカル 又は バイカルティ	1,000倍	温州・デコポン等

## 4. 摘果の実施

- 温州みかん…小玉果や病害虫果を中心に摘果を行い、日焼けしやすい上向き果も摘果しましょう。
- 中晩柑…7月中旬までに粗摘果を終わるよう作業を進め、最終着果数の2割増し程度まで落とします。品質の悪い裾成り・内成りから行い、その後赤道部と樹上部の小玉果や傷果を中心に摘果しましょう。

広報誌6月号掲載について下記のとおり訂正しお詫び申し上げます。(7ページ6月・7月の管理)

【訂正前】

### 1. 病害虫防除

品 種	対象病害虫	属性	農薬名	希釈倍数	水100ℓ当たり	散布時期
-----	-------	----	-----	------	----------	------



【訂正後】

### 1. 病害虫防除

品 種	対象病害虫	属性	農薬名	希釈倍数	水10ℓ当たり	散布時期
-----	-------	----	-----	------	---------	------



※病害虫防除欄内の農薬毎の必要量 (ml・g数) は「水10ℓ当たり」の量を記載してありますが、欄上部の表示が「水100ℓ当たり」となっておりました。正しくは、「水10ℓ当たり」の農薬量となります。